

事前のご質問について

Q：以下の事項の徹底をお願いしたい

- ・会社の名誉回復
- ・株主の信頼回復
- ・クリエイターのコンプライアンス

A：前期・今期と様々な取り組みを行っておりますので、それらを結実させ、中長期的な業績成長につなげていくことで、より企業価値を向上させ、もって株主様からの信用を回復させていきたいと考えております。また、クリエイターのコンプライアンスに関しましては、年間2回コンプライアンス研修を実施し、その確認テストを行うとともに、定期的にコンプライアンスに関する指導を行っております。今後、一層のコンプライアンスの徹底に努めてまいります。

Q：不祥事に対して、訴訟等の厳格な対処を求めたい

A：不祥事の内容に応じて、法務部門、内部監査部門を含め、必要に応じて外部の顧問先法律事務所等の専門家とも相談の上、適切に対処しております。

Q：YouTubeの再生回数だけを基準にクリエイターの採用やマネジメント、育成を行わないで欲しい

A：当社では従来より再生回数だけではなく、コンプライアンスの観点も踏まえて、クリエイターの採用や育成を行っております。頂いたご意見を参考に、今後はコンプライアンスを一層強化し、中長期的な企業成長につなげてまいります。

Q：取締役候補者として、長年の企業経験を持つ方や、女性の方の任命も検討してほしい。

A：ご指摘の通り、経営層のダイバーシティは当社の課題であり、実現に向けて新たな候補者を探してまいります。

Q：クリエイターの退所理由について貴社の見解及びクリエイターの所属契約における満足度向上のための対策について教えて欲しい。また、人気クリエイターの退所に伴う事業への影響について見解も教えて欲しい。

A：クリエイターの退所理由は様々ですが、特に独立心の強いクリエイターほどその傾向はあり、今後も一定数は発生するものと考えております。当社としては、新しい事業への挑戦や、コンテンツ管理、税務や法務周りのサポートなど、クリエイター個人では難しいことを当社の所属サポートを通じて克服することで、クリエイターとしてより飛躍できると考えております。今後もより多くのクリエイターにそのように思ってもらえるよう、サポート体制を強化してまいります。クリエイターの退所に伴う事業への影響については、退所するクリエイターも一定数いる一方で、新規加入するクリエイターもあり、20年5月期末と21年5月期末の専属クリエイターの数は変わっておりません。したがって、8期における事業への影響はほとんど発生しておりません。

Q：チャンネルが大きくなるとチャンネルMCが独立してしまうことについて、今後は株を使った報酬体系など検討しているのか教えて欲しい。

A：チャンネルMC含め、従業員のインセンティブ向上につながるような報酬体系については、今後も継続的に議論をまいります。